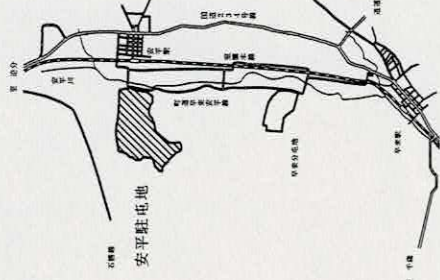


仕様書

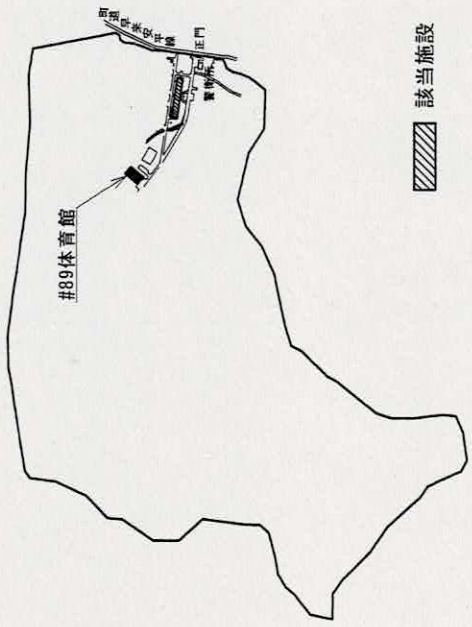
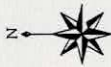
- 1 工事件名 : # 89 体育館屋根補修工事
- 2 工事場所 : 北海道勇払郡安平町安平 陸上自衛隊安平駐屯地 # 89 建物
- 3 工事概要 : 屋根補修 (瓦葺葺き (カバールーフ工法)) 一式

章	項目	内容																
一	1 総則	本工事仕様書及び図面は、陸上自衛隊安平駐屯地において実施する「# 89 体育館屋根補修工事」について必要な項目を制定する。																
	2 施工	本工事は、本仕様書及び図面によるほか、すべて国土交通省大臣官庁官庁管理官庁管理監督「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」に基づき入念に作業する。																
	3 疑義	本工事仕様書及び図面との内容に相違ある場合や明示ない場合又は疑いを生じた場合にはすべて、監督官と協議しなければならない。																
	4 軽微な変更	現場の納まり状況等により軽微な変更が生じた場合には監督官と調整し、その指示により施工する。但し、その場合の請負金額及び工期については変更しない。																
	5 材料	使用する材料は収収用資材を除きすべて新品とし、製造所及び商品名の特記ある場合はそのもの、又は同等品以上とする。但し、同等品を使用する場合は、監督官の承認を受ける。																
	6 現場管理	また、すべて材料は工事現場に搬入後、検査を実施し合格したものを使用する。 (1) 清工に先立ち、事前調査等により安全に関する施工計画を立て、作業関係者へ周知徹底するとともに常に作業の安全に留意して現場管理を行い、災害及び事故防止に努める。 (2) 本工事は現場代理人を常駐させ、労働者の監督及び請調整を密にするものとする。 (3) 工事現場は、常に諸材料等の整理整頓及び清掃を行い、火災等の事故防止に努める。 (4) 出入口及び危険のある場所には、危険表示等の処置を行う。 (5) 工事現場及び許可された場所以外への無断立ち入り、写真撮影等は厳禁とする。 (6) 在来施設等の保護には十分注意を払うものとし、万一、不注意等により損傷を与えた場合は監督官と調整の上、請負業者の責任において原形に復するものとする。 (7) その他他部隊側の諸規則、指示に従い遅滞なく作業を行う。 本工事に必要な書類手続及び整理は、請負業者の責任において監督官の指示どおり遅滞なく行う。 工事写真の提出方法は下記のとおりとする。																
二	書類手続	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>規格</th> <th>撮影箇所</th> <th>焼付部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工前</td> <td>1 サーベイス判以上</td> <td>工事間蔵となる箇所及び監督官の指示する箇所</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>施工中</td> <td>2 デジタルカメラ撮影可</td> <td></td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>完成時</td> <td></td> <td></td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table>	分類	規格	撮影箇所	焼付部数	施工前	1 サーベイス判以上	工事間蔵となる箇所及び監督官の指示する箇所	1部	施工中	2 デジタルカメラ撮影可		1部	完成時			1部
	分類	規格	撮影箇所	焼付部数														
	施工前	1 サーベイス判以上	工事間蔵となる箇所及び監督官の指示する箇所	1部														
	施工中	2 デジタルカメラ撮影可		1部														
	完成時			1部														
	工事写真	* (社)公共建築協会「工事写真の撮り方(改定第2版)」を参考に整理する。 * デジタルカメラを使用する場合は、200万画素以上のものとする。 工事実施に必要な図面(製作図、承認図)及び見本等は、製作前又は施工前に遅滞なく作成し、監督官の承認を得るものとする。また、工事着工に先立ち、実施工程表を作成し監督官の承認を受ける。 施工計画書を作成し、速やかに監督官に提出するものとする。 工事請負金額500万円以上の工事について、(財)日本建設情報センターの工事実績情報サービス(CORINS)に登録する。 金額は、監督官の指定する場所に運搬、集積し発生材調査を提出する。その他の発生材は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、関係法規に基づき適切に処理を行うものとし、マニフェストの写しを監督官に提出する。 工事完了に際しては、速やかに工事現場の後片付け清掃等を行う。 電気、水道は、請負業者の責任において準備する。 本工事後終了後、本工事仕様書及び図面等に基づき、監督官が立会いの上検査者が指定した日時に行うこととする。																
	関係図書等																	
	施工計画書																	
	工事実績情報登録																	
	発生材																	
	後片付け																	
	電気・水道																	
	竣工検査																	
	仮設工事																	
	屋根工事																	

足場は、「手摺り先行工法に関するガイドライン」についての「手摺り先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、脱落等の防止に努める。
 養生は溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ鋼板合金 JIS G 3322 7.0.4mm 互換葺き

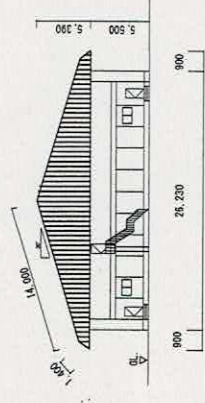


案内図 S=1:X

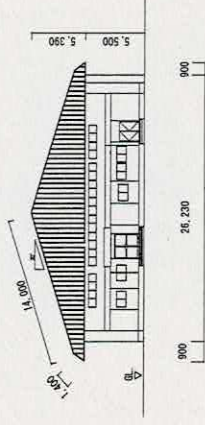


安平駐屯地配置図 S=1:X

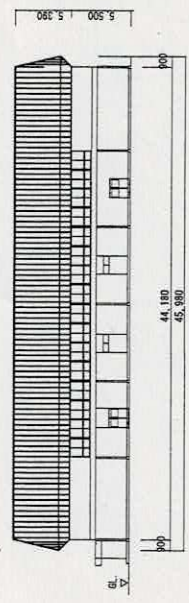
工事名称	# 89 体育館屋根補修工事					仕様書番号	6
図面番号	仕様書・案内図・配置図					図面番号	1
支処長	藤野	菅野	川端	菅野	菅野	企業管財係長	菅野
総務科長	菅野	菅野	菅野	菅野	営繕班長	菅野	菅野
企画管財係	菅野	菅野	菅野	菅野	企画管財係	菅野	菅野
設計	菅野	菅野	菅野	菅野	設計	菅野	菅野
作成年月日	令和6年4月13日					陸上自衛隊安平駐屯地総務科営繕班	



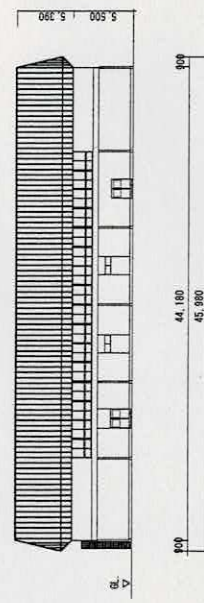
東側立面図 S=1:500



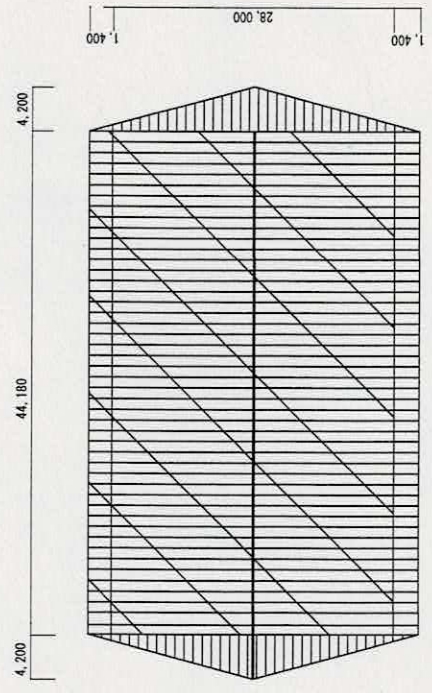
西側立面図 S=1:500




南側立面図 S=1:500



北側立面図 S=1:500



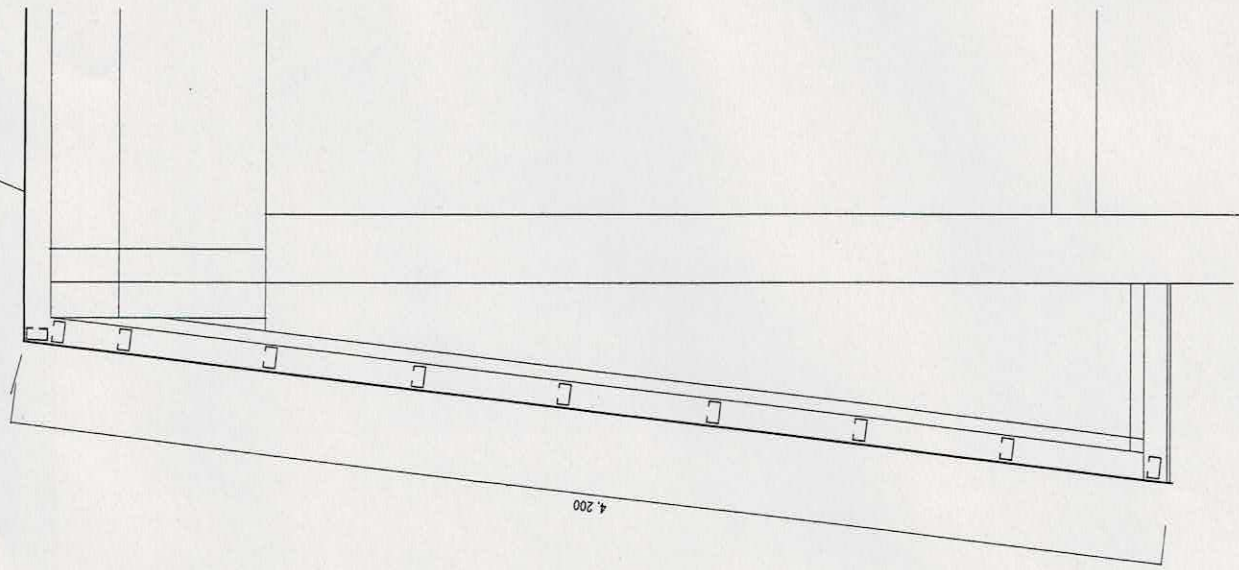
屋根伏図 S=1:500

凡例：
 工事実施箇所 屋根補修 (カバールーフ工法)

工事関係者以外不許複製

工事名称 #89 体育館屋根補修工事	図面番号	葉全3
	縮尺	の内2
図面名称 立面図・屋根伏図	図示	

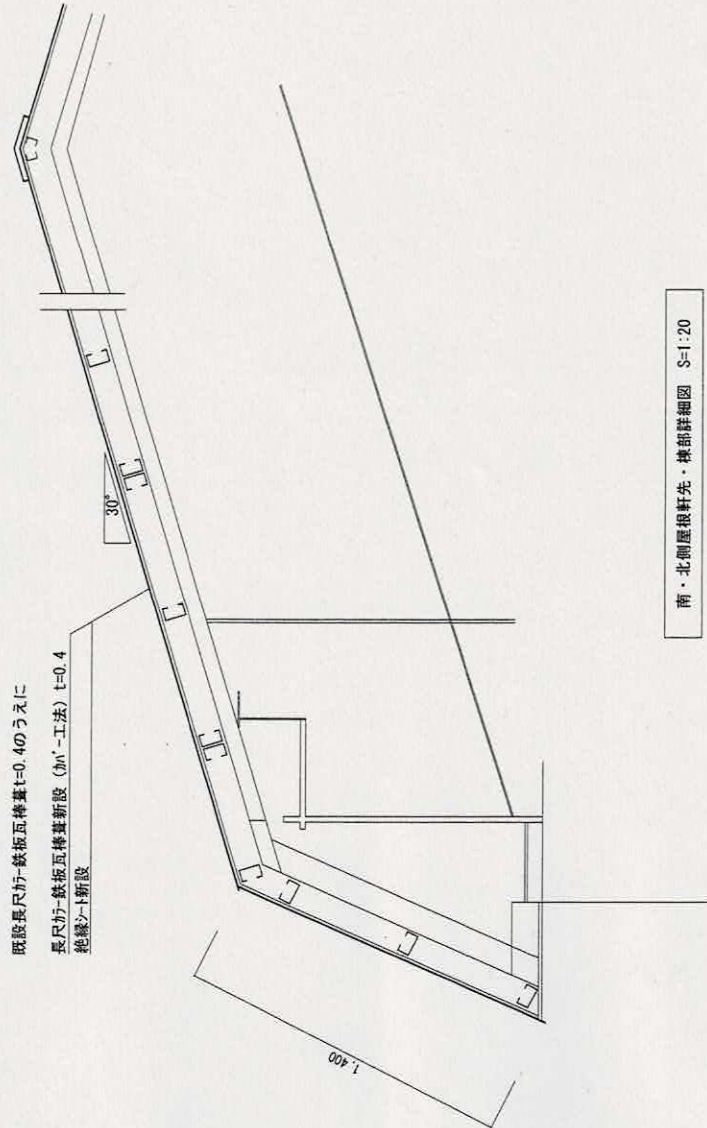
既設長尺が-鉄板瓦棒葺 $t=0.4$ のうえに
長尺が-鉄板瓦棒葺き (加'-工法) 新設 $t=0.4$
絶縁シート新設



東・西側屋根軒先部詳細図 S-1:20

※瓦棒部分については、キャップカバーする
構鉄板含む

既設長尺が-鉄板瓦棒葺 $t=0.4$ のうえに
長尺が-鉄板瓦棒葺新設 (加'-工法) $t=0.4$
絶縁シート新設



南・北側屋根軒先・構部詳細図 S-1:20

工事名称	#89体育館屋根補修工事	図面番号	全3葉の内3
図面名称	詳細図	縮尺	図示

工事関係者以外不許複製